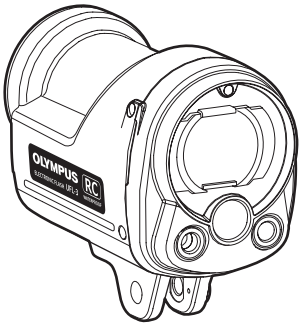
OLYMPUS

UFL-3



日本語
ENGLISH
FRANÇAIS
DEUTSCH
ESPAÑOL
中文
한국어

JP 取扱説明書　エレクトロニックフラッシュ

EN Instruction Manual　Electronic Flash

FR Mode d'emploi　Flash Électronique

DE Bedienungsanleitung　Elektronisches Blitzgerät

ES Manual de Instrucciones　Flash Electrónico

CHS 使用说明书　电子闪光灯

KR 사용설명서　전자 플래시

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using your photographic equipment, basic safety precautions should always be followed, including the following:

- Read and understand all instructions before using.
- Close supervision is necessary when any flash is used by or near children. Do not leave flash unattended while in use.
- Care must be taken as burns can occur from touching hot parts.
- Do not operate if the flash has been dropped or damaged - until it has been examined by qualified service personnel.
- Let flash cool completely before putting away.
- To reduce the risk of electric shock, do not disassemble this flash, but take it to qualified service personnel when service or repair work is required. Incorrect reassembly can cause electric shock when the flash is used subsequently.
- The use of an accessory attachment not recommended by the manufacturer may cause a risk of fire, electric shock, or injury to persons.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に本説明書の内容をよくご理解のうえ、安全に正しくご使用ください。この説明書はご使用の際にいつでも見られるように大切に保管してください。

はじめに

JP

- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- 本製品の不適切な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による分解、修理、改造その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番などなど、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

ご使用の前に必ずお読みください

本製品は、水深75m以内の水中で使用するよう設計された精密機械です。取り扱いには十分ご注意ください。

- ご使用前の取り扱い方法とメンテナンス、ご使用後の保管方法はこの説明書の内容をよくご理解のうえ、正しくご利用ください。
- 水没による内部機材の損傷、記憶内容や撮影に要した諸費用などについて一切の責任を負いかねます。
- 使用時の事故（人身・物損）について一切の責任を負いかねます。

安全にご使用いただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠危険

- 本製品には高電圧回路が組み込まれています。決して分解、改造はしないでください。感電やけがの恐れがあります。
- 加熱性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 車の運転者などに向けてフラッシュを発光しないでください。大きな事故の原因になります。

⚠警告

- フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたす恐れがあります。特に乳幼児に対して1m以内の距離で撮影しないでください。
- フラッシュ、電池などを幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生の恐れがあります。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能なほどの障害を起こす。
  - フラッシュ可動部でけがをする。

●陸上／水中※にかかわらず、以下の場合はすみやかに使用をやめ、電源を切って電池を抜いてください。その後お買い上げの販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
  • 内部に水や異物が入ったとき。
  • 内部に水滴が見えたとき。
  • 本体が破損し、内部が露出したとき、露出した部分には絶対に触れないでください。電池の有無にかかわらず、製品内部の高圧回路部分で感電する恐れがあります。

※ 水中での使用時は、浮上する速さや減圧時間を考慮したうえで、出来るだけ早く浮上し、本体の水分を取り除いてから、電池を抜いてください。

●湿気やほこりの多い場所にフラッシュを保管しないでください。火災や感電の原因となります。

●発光部分を手やハンカチなどの燃えやすい物で覆ったまま、発光しないでください。

●連続発光後、発光部に手を触れないでください。やけどの恐れがあります。

●本製品用のシリコンOリング用グリスは食べられません。

⚠ 注意

●異臭、異常音、変形もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、電源を切り、やけどに注意しながら電池を取りはずし、お買い上げの販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因になります。

●異常に温度が高くなるところ、異常に温度が低くなるところ、極端な温度変化のあるところに本製品を置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。

●電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。

●振動のある場所に保管しないでください。故障の原因となります。

●砂、ほこり、塵の多いところで電池キャップの着脱をすると防水性能が損なわれ水漏れの原因となることがあります。

●本製品は水深 75m 以内の水深で使用するように設計・製造されています。75mより深い潜水をされた場合、復帰しない変形や破損が生じたり、水漏れを起こすことがあります。

●本製品を持ったまま水中に勢いよく飛び込んだ場合や、船上から海へ放り投げるなど、乱暴に扱うと水漏れする場合があります。手渡しをするなど、取り扱いには十分ご注意ください。

●飛行機で移動する際は、あらかじめOリングを取りはずしてください。気圧の関係で電池キャップが開かなくなることがあります。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 火中への投下や、加熱をしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- (+)(−)端子を金属類で接続しないでください。
- 電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しないでください。ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- 電池の液が目に入ると、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

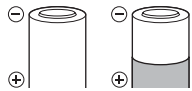
⚠警告

- 電池の電極を濡らさないようご注意ください。故障や、事故の原因となる可能性があります。
- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。感電・故障の原因となります。
- 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがの恐れがあります。
  - 電池は指定された電池をご使用ください。
  - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
  - 充電できないアルカリ電池やリチウム電池は充電しないでください。
  - (+)(−)を逆にして装着・使用しないでください。また電池室にスムーズに入らない場合は無理に入れないでください。

- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
- 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

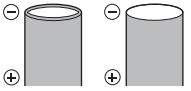
JP

●このような形状の電池はご使用になれません。



シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部が剥がされているもの。

負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。



負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の一部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

●充電式電池は必ず指定された充電器ですべての電池を同時に、かつ完全に充電してからご使用ください。また電池、充電器の説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

●外装にキズや破損のある電池は使用しないでください。破裂・発熱の原因となります。

●液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止してください。火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

●長時間連続使用したあとは、電池をすぐに取り出さないでください。電池が熱くなりやけどの原因となることがあります。

●電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、皮膚に傷害を起こす恐れがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

●電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

●長期間使用しないときは電池を取りはずしておいてください。電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れる原因になります。

⚠注意

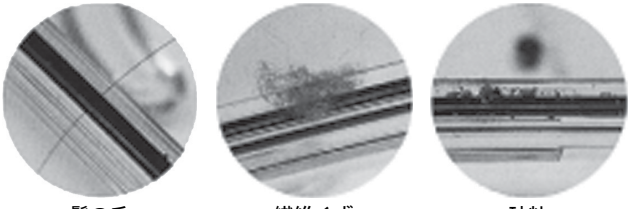
- ●電池の（+）（−）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- ●一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- ●長時間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。

O リングについて

本製品を使用するときは、以下の注意を守ったうえでご使用ください。

- ●本製品を密閉する際にはOリングだけではなくその接触面（電池キャップ側）にも髪の毛、繊維くず、砂粒などの異物がついていないことを確認してください。たとえ髪の毛一本、砂粒一粒が挟まっても水漏れの原因となります。特に念入りに確認してください。

Oリングへの異物付着の一例



髪の毛　　繊維くず　　砂粒

- ●Oリングは消耗品です。少なくとも 1 年に 1 回は新品と交換してください。また、ご使用の都度メンテナンスをしてください。
- ●Oリングは使用状態、保管状態によっては劣化が早まります。Oリングに傷、ヒビが入っていたり、弾力がなくなっていたらすぐに新しいOリングに交換してください。
- ●O リングメンテナンスのときには O リング溝内を清掃し、ゴミ・ほこり・砂粒などの異物が無いことを確認してください。
- ●Oリングには指定のシリコンOリング用グリスをご使用ください。

●Oリングが正しく入っていないと防水機能が働きません。Oリングを装着する際は、Oリングが溝からはみ出したり、ねじれたりしないよう注意して取り付けてください。また、電池キャップを取り付けるときは、Oリングが溝からはずれないよう確認しながら取り付けてください。

使用上のご注意

JP

●以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障、破損、火災、内部の曇り、水漏れの原因となります。絶対に避けてください。
- 直射日光下や自動車の中など高温になるような場所
- 火気のある場所
- 水深75mより深い水中
- 振動のある場所
- 高温多湿や温度変化の激しい場所
- 揮発性物質のある場所

●アーム取り付け部には過大な力をかけないでください。

●発光部の過熱と劣化を防止するため、フル発光での連続発光は10回までで中断し、10分以上間をあけて発光部を冷却させてください。

●長期間使用しないとOリングの劣化などにより防水性能が低下している場合があります。使用前にはOリングのチェックを必ず行ってください。

●洗浄・防錆・補修などの目的で、以下の薬品類を使わないでください。本製品に直接、あるいは間接的（薬剤が気化した状態）に使用した場合、ヒビ割れなどの原因となります。

使用できない薬品類	説明
揮発性の有機溶剤、化学洗剤	アルコール・ガソリン・シンナーなどの揮発性有機溶剤、または化学洗剤などで洗浄しないでください。洗浄は真水、または、ぬるま湯を使用してください。
防錆剤	防錆剤を使用しないでください。金属部分はステンレスおよび真ちゅうを使用しています。洗浄は、真水を使用してください。
接着剤	補修などの目的で接着剤を使用しないでください。補修が必要な場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。

- この取扱説明書で指示している以外の操作を行う、または指示している以外の場所を取りはずしたり、改造を加えたり、指定以外の部品を使用することはしないでください。
  上記の行為の結果、撮影に不都合が生じたり機材に不具合が発生した場合は保証の対象外となります。

もくじ

JP

はじめに 2
ご使用の前に必ずお読みください 2
安全にご使用いただくために 3
電池についてのご注意 5
Oリングについて 7
使用上のご注意 8

1. 各部の名称 12
フラッシュ 12
同梱品 12

2. Oリングのメンテナンス 14
Oリングを取りはずします 14
砂・ゴミなどを取り除きます 15
Oリングにグリスを塗ります 16
Oリングを取り付けます 16

3. 電池を入れる 17
本機で使用できる電池(別売) 17
電池を入れます 17

4. フラッシュを取り付ける 19
アームに取り付けます 19
カメラ用防水プロテクターと接続します 20

5. TTL(自動調光)フラッシュとして使う 21
電源を入れます 21
撮影します 22
RC Aモードでの使いかた 22
RC Bモードでの使いかた 22
撮影します 22

6. スレーブフラッシュとして使う 23
拡散板を使う 24
取り付け方法 24
取りはずし方法 25

7. 撮影終了後の取り扱い方法 26
真水で洗います 26
水滴を拭き取ります 26
電池を取り出します 26

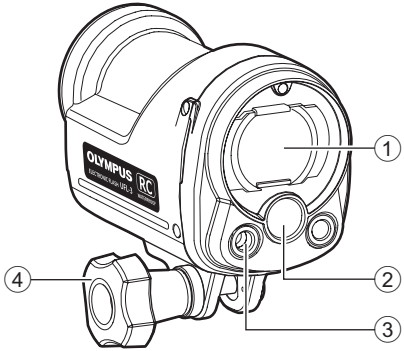
乾燥させます 27
Oリングのメンテナンスをします 27
消耗品は取り替えます 27
8. 付録 28
ご使用上のQ&A 28
こんなときは？ 32
主な仕様 33

JP

1. 各部の名称

フラッシュ

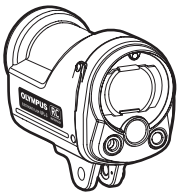
JP



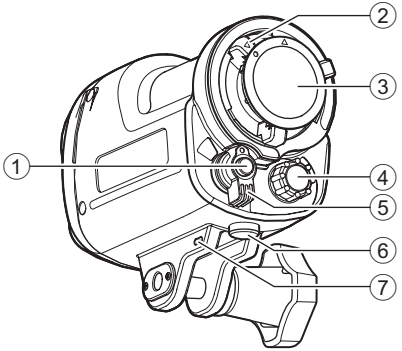
① 発光部
② ターゲットライト
③ 光ファイバーケーブルコネクタ部
④ アーム取り付けネジ

同梱品

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、付属品が不足していたり、破損している場合はお買上げの販売店までご連絡ください。



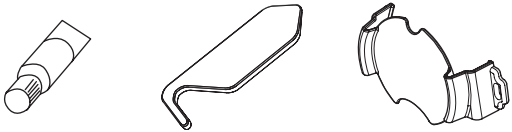
フラッシュ本体



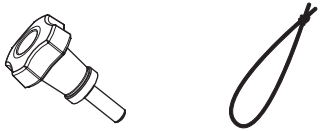
① ボタン
- ボタンを押すとターゲットライトが点灯します。もう一度押すと消灯します。
- ターゲットライト点灯中にフラッシュが発光すると、ターゲットライトは消灯し、フラッシュが発光可能状態（Readyランプが赤色点灯）になると、再度点灯します。

② 電池キャップロック
③ 電池キャップ
④ 光量調整ダイヤル
⑤ モードダイヤル
⑥ Ready/TTLランプ
- フラッシュが発光可能状態になると赤色に点灯します。
- 発光の際にTTL自動調光された場合、発光後約2秒間緑色に点灯します。

⑦ ストラップ取り付け穴



シリコングリス　Oリングリムーバー　拡散板



アーム取り付けネジ　拡散板ストラップ

- 取扱説明書（本書）

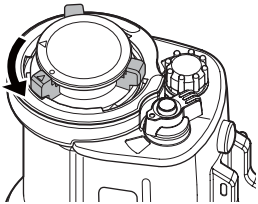
2. O リングのメンテナンス

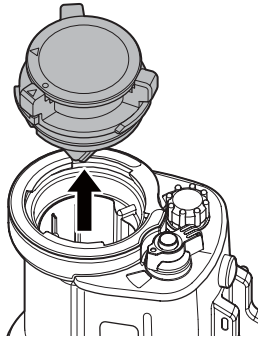
本機はOリングで防水を保っています。ご購入直後でも、実際に製品を水中でご使用になる前には必ず、防水機能のメンテナンスを実施してください。
Oリングの取り扱いについては、P.7も合わせてお読みください。

JP

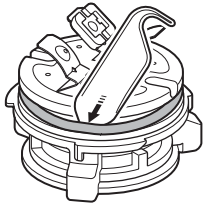
Oリングを取りはずします

電池キャップを開けて（☞P.17）、キャップ側に装着されているOリングを取りはずします。



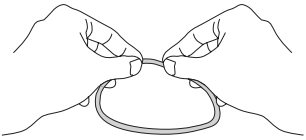


① OリングとOリング溝の壁の間に、Oリングリムーバーを差し込みます。
② 差し込んだOリングリムーバーの先端を、Oリングの下にくぐらせるようにします。（Oリングリムーバーの先端で溝を傷付けないよう注意してください）
③ 浮き上がったOリングを指先でつまんで、取りはずします。

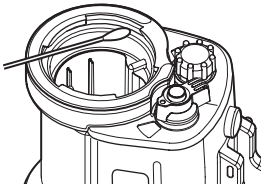


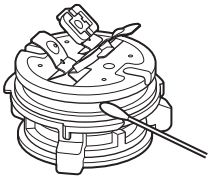
砂・ゴミなどを取り除きます

目視でOリングについたゴミを取り除いた後、Oリングを指でつまんで全周を軽くしごくと、砂などの異物の付着や傷・ヒビ割れの有無が確認できます。



繊維の出にくい清潔な布、またはかすの出にくい綿棒などで、Oリング溝に付着した異物を取り除きます。Oリング密着面（電池キャップ側）も同様に付着した砂・ゴミを取り除きます。





⚠ **注意**：

- Oリングを取りはずすときや、溝内部を清掃するときに、シャープペンシルなど先端の鋭利なものを使用すると、Oリングや本機に傷がつき、水漏れの原因になることがあります。付属のOリングリムーバーをご使用ください。
- 指先でOリングをしごいて検査する際に、Oリングを引き伸ばさないようにご注意ください。
- Oリングを洗浄する際には、アルコール・シンナー・ベンジンなどの溶剤、または化学洗剤の使用は絶対に避けてください。これらの薬品を使用すると、Oリングに損傷を与えたり、劣化を早める恐れがあります。
- Oリングは使用状態、保管状態によっては劣化が早まります。Oリングに傷、ヒビが入っていたり、弾力が無くなっていたら、新品と交換してください。

Oリングにグリスを塗ります

1	専用グリスを付けます。		指やOリングにゴミの付着がないことを確認し、専用のグリスを指に10ミリ程度取り出します。
2	グリスを全体に伸ばします。		指にとったグリスを、3本の指で挟むように全体に伸ばしていきます。力を入れてOリングを引っ張らないように注意してください。
3	傷や凹凸がないかチェックします。		全体になじんだグリスを確認して、手の感触と目で傷や凹凸がないかチェックしてください。傷があったら新品のOリングに必ず交換してください。
4	圧着面にグリスを塗ります。		指に残ったグリスは本体側の圧着面の清掃と、グリスアップに使用します。

JP

Oリングを取り付けます

異物の無いことを確認後、Oリングに薄く付属のグリスを塗り、溝にOリングをはめ込みます。このとき、溝からOリングのはみ出しが無いことを確認してください。

⚠ 注意：
- 撮影途中でも電池の交換で電池キャップを開けた場合は、必ず防水機能のメンテナンスを実施してください。防水機能のメンテナンスを怠ると水漏れの原因となります。
- 長期間使用しない場合は、Oリングの変形を避けるためにOリングを溝からはずしてシリコングリスを薄く塗り、清潔なポリ袋などに入れて保管してください。
- 海水などで塩分が付着したまま乾燥させると、機能に支障を来たす恐れがあります。使用後は必ず真水で塩分を洗い落としてください。

Oリングへの異物付着の一例

髪の毛　繊維くず　砂粒

3. 電池を入れる

本機で使用できる電池（別売）

下記の電池が使用できます。
　単3形アルカリ電池／単3形ニッケル水素電池

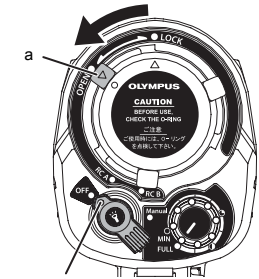
• マンガン電池は使用できません。

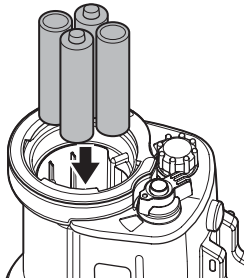
JP

電池を入れます

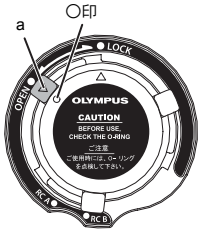
電池の装てんおよび交換は、本体の水分を十分に拭き取り、乾いた手で行なってください。特に髪の毛やウエットスーツのそで口からの水滴にご注意ください。

① モードダイヤルがOFFになっていることを確認します。
② 「a」を反時計方向に回して、OPEN●の位置に合わせます。
③ 電池キャップをまっすぐに引き抜きます。
④ （+）（−）のマークに合わせて、電池を入れます。
　電池の向きを間違えないように注意してください。
⑤ 電池キャップのOリングにシリコングリスを塗ります。
　• Oリングにキズやゴミ等がないことを確認し、付属のシリコングリスを薄く塗ってください。（☞P.16）

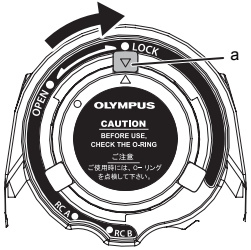




⑥ 電池キャップの〇印と「a」を、OPEN ●の位置に合わせ、電池キャップを本体に押し込みます。



⑦「a」を時計方向にまわして、LOCKの位置に合わせます。
カチッと音がするまで確実に回してください。



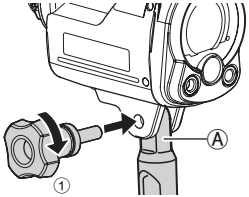
⚠ 注意：
- 電池は必ず同一の種類のものをご使用ください。
- 電池は4本同時に交換してください。

4. フラッシュを取り付ける

アームに取り付けます

アームに本機を取り付けます。カメラ側に取り付けるときは、アームに付属している取扱説明書をご覧ください。

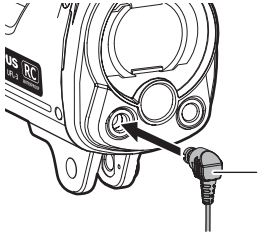
① 本機のアーム取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。
② 本機のアーム取り付け部の間に、アームのⒶの部分を合わせます。
③ 手順①でゆるめたネジを時計回りにまわして、本機を固定します。
・確実に固定されていることを確認してください。



ターゲットライトを点灯させて、フラッシュの向きを調節することができます。

カメラ用防水プロテクターと接続します

本機をカメラ用防水プロテクターと接続します。接続には、水中光ファイバーケーブル(別売）を使用します。



- 水中光ファイバーケーブルのコネクタを、カメラ用防水プロテクターと本機の光ファイバーケーブル差込口に、コネクタの黒い軸が見えなくなるまでしっかりと差し込みます。
- 水中光ファイバーケーブルは、水中で抜き差しすることができます。
- 詳細については、水中光ファイバーケーブル（別売）、およびカメラ用防水プロテクター付属の取扱説明書をご覧ください。

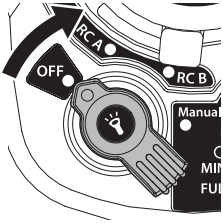
5. TTL（自動調光）フラッシュとして使う

ワイヤレスRCフラッシュ機能を搭載したカメラで使用するときは、TTL（自動調光）フラッシュとして使用できます。カメラ側で発光モードや発光量の補正などの設定することで、本機の光量は自動的に制御されます。カメラ側の設定については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

JP

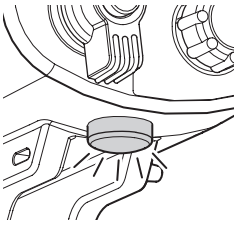
電源を入れます

① モードダイヤルを回して、RC A/RC Bのいずれかに合わせます。
本機の電源が入ります。



電源を切るときは、モードダイヤルを回してOFFに合わせます。

充電が完了してフラッシュが発光可能状態になると、Ready/TTLランプが赤色に点灯します。



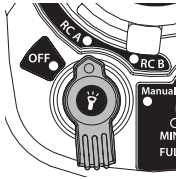
⚠ **注意**：
- 電源を入れた際や発光後Ready／TTLランプが消灯してから、発光可能状態になるまでに30秒以上かかる場合は、新しい電池と交換してください。
- 何も操作しないで 30 分経過すると自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れなおしてください。

撮影します

RC Aモードでの使いかた

カメラ側のRCモードのAグループの設定に従って動作します。

JP



① モードダイヤルを回して、RC Aに合わせます。
② カメラのRCモードをONに設定して、カメラのフラッシュが発光できる状態にします。
③ カメラ側のRCフラッシュを設定します。(Aグループの設定に従い発光します。)
- チャンネルは「1」に設定してください。
- カメラ側でAutoやFP(スーパーFP発光)に設定した場合、本機は発光しません。

RC Bモードでの使いかた

カメラ側のRCモードのBグループの設定に従って動作します。

① モードダイヤルを回して、RC Bに合わせます。
② カメラのRCモードをONに設定して、カメラのフラッシュが発光できる状態にします。
③ カメラ側のRCフラッシュを設定します。(Bグループの設定に従い発光します。)
- チャンネルは「1」に設定してください。
- カメラ側でAutoやFP(スーパーFP発光)に設定した場合、本機は発光しません。

撮影します

Ready/TTLランプが赤色に点灯後、カメラのシャッターボタンを押して撮影します。
発光の際にTTL自動調光された場合、Ready/TTLランプが発光後約2秒間緑色に点灯します。

6. スレーブフラッシュとして使う

ワイヤレスRCフラッシュ機能をもたないカメラで使うときは、マニュアル発光用フラッシュとして使用します。フラッシュの発光量を手動で設定します。

① モードダイヤルを回して、Manualに合わせます。
② 光量調整ダイヤルを回して、発光量(GNo.)を設定します。
③ カメラを以下のように設定します。
- スレーブモードがあるカメラはスレーブモードに設定します。
- マニュアル発光モードがあるカメラはマニュアル発光に設定します。マニュアル発光可能な外部フラッシュをカメラに取り付けている場合も機能します。

⚠ **注意**：
- プリ発光を行うカメラでは、プリ発光に連動してフラッシュが発光してしまうためスレーブフラッシュは使用できません。
- 他の撮影者がフラッシュ撮影している場合はそのフラッシュ光に反応して発光します。

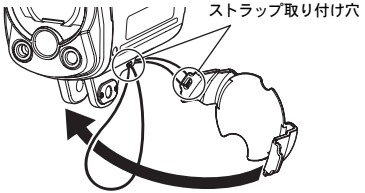
拡散板を使う

近距離撮影する場合は、拡散板のご使用をおすすめします。

JP

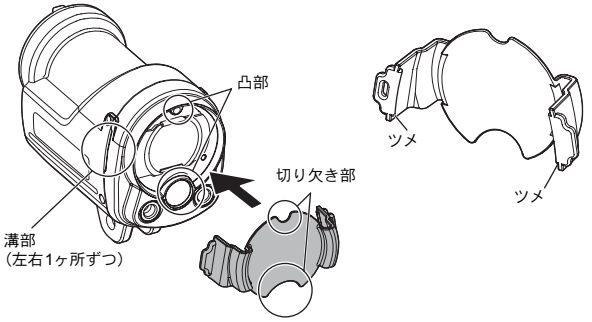
取り付け方法

① 付属の拡散板ストラップを、拡散板と本製品のストラップ取り付け穴に通します。



② 拡散板の切り欠き 2 ヶ所と、フラッシュ発光部の凸部 2 ヶ所を合わせます。

③ フラッシュ本体の溝部（左右 1 ヶ所ずつ）に、拡散板のツメ 2 ヶ所がしっかりはまるように取り付けます。

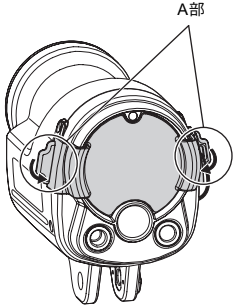


⚠ **注意**：

- 拡散板が正しく取り付けられたことを確認してからご使用ください。使用中の脱落・紛失・破損などの原因になります。

取りはずし方法

拡散板のA部（2ヶ所）を指でつまむように持ち、A部（2ヶ所）を手前に引き上げるようにしてツメを本体の溝部よりはずします。



⚠ **注意**：

- 片側のツメのみを持って拡散板を取りはずさないでください。拡散板が破損する場合があります。

7. 撮影終了後の取り扱い方法

真水で洗います

ご使用後は、できるだけ早く真水で十分に洗います。海中で使用した場合は、塩分を落とすために真水に一定時間浸けておくと効果的です。
本機の各種スイッチ類を、真水の中で操作して軸周りに付いた塩分を洗い落としてください。

JP

⚠ 注意：
- 部分的に高い水圧がかかると水漏れする恐れがあります。
- 決して分解しての清掃はしないでください。
- 塩分が付着したまま乾燥させると、機能に支障を来たす恐れがあります。使用後は必ず塩分を洗い落としてください。

水滴を拭き取ります

水中撮影終了後、陸に上がったら本機に付いている水滴を拭き取ります。本体と電池キャップのすきま、電池キャップやボタン類に付いている水滴などを、繊維くずの出ない柔らかい布や、エアーを使って丹念に除去します。

⚠ 注意：
- フラッシュ本体と電池キャップの間に水滴が残っていると、電池キャップを取りはずした際に、その水滴が内部にこぼれる恐れがあります。特に念入りに水滴を除去してください。

電池を取り出します

① 電池キャップを取りはずし、電池を取り出します。
② 電池を取り出した後、再度電池キャップを確実に取り付けます。

⚠ 注意：
- 電池キャップを開ける際、手や手袋に砂・繊維くずなどの異物が付いていないことを確かめてください。
- 水しぶきや砂のかかる恐れのある場所では、電池キャップの脱着をしないでください。電池の交換をするためにやむを得ず開閉する場合は、物陰でシートを敷くなど、水しぶきや砂のかからないようにしてください。
- 海水のついた手で電池に触れないよう注意してください。

Note :
あらかじめ真水で濡らしたタオルなどをポリ袋に入れて用意しておき、手や指の塩分を拭き取ってから作業しましょう。

乾燥させます

真水で洗った後は、塩分のついていない、繊維くずの出ない乾いた状態の柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。

⚠ 注意 :
- 乾燥させるためにヘアードライヤーなど温熱風を使用したり、直射日光に当てることはしないでください。本体の劣化・変形やOリングの劣化を早め、水漏れの原因になります。
- 本機を拭く際は、拭き傷を付けないようご注意ください。

Oリングのメンテナンスをします

本機の防水機能を最適な状態で維持するために、使用後は必ず行ないます。「2. Oリングのメンテナンス」（☞P.14）

消耗品は取り替えます

- Oリングは消耗品です。本機の使用回数にかかわらず、少なくとも1年以内に新品と交換されることをおすすめします。
- 使用状況、保管状況によってはOリングの劣化が早まります。傷・ヒビ割れが入っていたり弾力が低下していたら1年未満でも交換してください。

Note :
消耗品のシリコンOリング用グリス、本体用Oリングはオリンパス純正品をご使用ください。当社サービスステーションでも購入いただけます。

8. 付録

ご使用上のQ&A

JP

Q1: 電池キャップを脱着する際の注意事項を教えてください。

A1: 下記の点にご注意ください。

① 水しぶきや砂のかかる恐れのない場所で、電池キャップを取りはずしてください。

② 電池キャップと本体のすき間、切り換えスイッチなど凹凸のある個所に付着した水滴を拭き取ってください。電池キャップを取りはずしたときに内部に水滴が流れ込む恐れがあります。

③ OリングとOリング接触面（電池キャップ側）にゴミ、髪の毛などの異物が付着していないことを確認してください。

④ 電池キャップを取り付ける前に、電池キャップ側にある溝にOリングが正常に装着されていることを確認してください。

Q2: 使用時または保管時の注意事項を教えてください。

A2: ① 下記のような場所で本機を使用、放置または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光下や自動車の中など、本機が高温になる場所や異常に温度が低い場所、極端に温度変化が激しい場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動のある場所

② 以下のような取り扱いをした場合、本機が故障・破損する恐れがありますのでご注意ください。

- 物にぶつける
- 落下させる
- 重たいものを載せる

③ 長時間使用しないとカビが生えたり故障の原因になることがあります。使用前に各操作部の動作を確認して、Oリングのメンテナンスを実施してください。
「2. Oリングのメンテナンス」（☞P.14）

④ 電池を抜いて保管してください。

Q3: 使用後の取り扱いを教えてください。

A3: P.28をご覧ください。

Q4: 水没事故の原因を教えてください。

A4: 水没事故は主に下記のことが原因で起こります。特に念入りに確認してください。

① Oリングの取り付け忘れ。
② Oリングの一部または全部が溝からはずれている。
③ Oリングに傷、変質、または変形がある。
④ Oリングに砂・繊維くず・髪の毛など異物の付着している。
⑤ Oリング溝、Oリング接触面に砂・繊維くず・髪の毛など異物が付着している。
⑥ 船上から海へ放り投げたり、本機を持ったまま水中に飛び込むなど、瞬間的に強い力が加わったとき。水中に入る際は手渡しを行うなど衝撃を与えないようご注意ください。

Q5:　Oリングメンテナンスの注意点を教えてください。

A5:　下記の点にご注意ください。

① Oリングはクリーニングの際にアルコール・シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や化学洗剤の使用は避けてください。これらの薬品を使用するとOリングが変質し劣化を早めます。

② グリスはオリンパス純正のシリコンOリング用（白キャップ）グリスをご使用ください。その他のグリスは本シリコンOリングに適しておりませんので、使用すると表面が変質して防水機能を損なうことがあります。

③ 長期間使用しないときは、Oリングの変形を避けるためにOリングをはずして付属の専用グリスを塗り、清潔なポリ袋などに入れて保管してください。再度使用する場合はOリングに傷・ヒビ割れがないこと、弾力が十分にあること、表面がべとつくなどといった異常が無いことを確認した上で、付属の専用グリスを薄く塗り直してください。グリスは多く塗っても防水機能や許容耐圧は上がりません。かえって砂やゴミなどが付き易くなります。薄く均一に塗ることで最大の効果を発揮します。

④ Oリングは消耗品です。少なくとも1年に1回は交換するようにしてください。

⑤ Oリングは使用状態、保管環境などによっては劣化が早まります。Oリングメンテナンス時に傷、ヒビ割れが入っていたり、弾力が無くなっていたらすぐに新しいものと交換してください。

Q6:　本体のメンテナンス上の注意を教えてください

A6:　下記の点にご注意ください。洗浄・防錆・修理などの目的で下記の薬品類を使用しないでください。

- 本機をアルコール・シンナー・ベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学洗剤で洗浄しないでください。洗浄は真水またはぬるま湯で十分です。
- 防錆剤などを金属部分に使用しないでください。金属部分はアルミおよび真ちゅうとステンレスです。真水による洗浄で十分です。
- 修理などの目的で接着剤を使用しないでください。修理が必要な場合はお買上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

Q7: 修理について教えてください。

A7: ご自分で修理・分解・改造を行わないでください。ご自分またはオリンパス指定者以外の第三者によって修理・分解・改造を行うと保証の対象外となります。
修理が必要な場合はお買上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

Q8: 付属品の型式を教えてください。

A8: 下記の付属品を販売しています。
電池キャップ用Oリング（POL-U1）
シリコンOリング用グリス（PSOLG-1/2/3）

※ 操作スイッチ類のOリングはお客様による交換はできません。交換が必要な場合はお買上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。有償で交換いたします。

こんなときは？

Q: **フラッシュ撮影時、カメラのホワイトバランスを適正に設定したい。**

A: オートモードでのご使用をおすすめします。マニュアルホワイトバランスを使用するときは、5400K付近に色温度を設定してください。なお、フラッシュ発光量によって色温度は変化します。

JP

Q: **RCモードで撮影時にフラッシュが発光しない。**

A: カメラとフラッシュが同じチャンネルに設定されているか確認してください。また、グループが正しく設定されているか確認してください。

Q: **使用しているカメラがワイヤレスフラッシュに対応しているか知りたい。**

A: RCモードはオリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応したカメラのみ使用できます。それ以外のカメラでは、カメラのフラッシュをスレーブモードまたはマニュアル発光に設定できる場合にスレーブフラッシュとして使用できます。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

Q: **自動的に本機の電源が切れた。**

A: 何も操作しないで30分経過すると自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れなおしてください。

主な仕様

MODEL NO.	UFL-3
形式	デジタルスチルカメラ用水中撮影用外部フラッシュ
ガイドナンバー	22 （陸上値、FULL発光時）
照射角度	24mm レンズ（35mm 換算）の画角をカバー （陸上値）
発光回数	単3形アルカリ電池：約240回 単3形ニッケル水素電池（1900 mAh）：約330回
充電時間（フル発光）	単3形アルカリ電池：約2.6秒 単3形ニッケル水素電池（1900 mAh）：約1.9秒
発光モード	TTL発光 マニュアル発光
色温度	5400 K
耐圧深度	75 m
使用環境	0℃～40℃
電源	単3形電池　4本（アルカリ電池／ニッケル水素電池）
サイズ	幅69 mm×高さ109 mm×厚さ133 mm （突起部含まず）
質量	約465 g（電池含まず）
水中重量	約10 g (電池含む、淡水中)

※ 外観・仕様は改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。

また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。

オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーコール **0120-084215**

携帯電話・PHSからは 042-642-7499

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。

また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

フリーコール **0120-971995**

営業時間：平日8:00 ～ 20:00　土・日・祝日9:00 ～ 18:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。

© 2014 OLYMPUS IMAGING CORP.

2014.08.

OLYMPUS®

http://www.olympus.com/

©2014 OLYMPUS IMAGING CORP.
Printed in China

WC523202